

次に、席種と購入枚数の集計結果を表 2. 1. 1-2 に示す。指定席は 2 枚買いの件数が 47% を占め、自由席は 1 枚買いが 58% で半数を超えていた。カイ自乗検定の結果、購入枚数別の件数の比率に関して指定席と自由席との間に有意な差が認められた ($\chi^2=17943.0$, $df=2$, $p<0.001$)。

表 2. 1. 1-1： 試合の曜日と購入枚数のクロス集計表

		購入枚数			計
		1枚	2枚	3枚以上	
試合の	平日(21試合)	38395 (0.48)	29317 (0.37)	11005 (0.13)	78717 (1.00)
曜日	休日(20試合)	24411 (0.27)	40484 (0.46)	23013 (0.26)	87908 (1.00)

()内は比率を示す。

表 2. 1. 1-2： 席種と購入枚数のクロス集計表

		購入枚数			計
		1枚	2枚	3枚以上	
席種	指定席	29040 (0.25)	53649 (0.47)	29664 (0.26)	112353 (1.00)
	自由席	34496 (0.58)	18600 (0.31)	6377 (0.10)	59473 (1.00)

()内は比率を示す。

以上の結果から、平日の試合は 1 枚買いが多く休日の試合はまとめ買いが多いこと、指定席はまとめ買いが多く自由席は 1 枚買いが多いことが統計的にも明らかとなった。QR コードの情報には、まだ他にも対戦チーム、予約番号、ファンクラブの会員番号等々があり、これらの項目についてもさらに検証を重ねていけば、チケット一般販売の様相が明らかとなり、販売促進上の有効な知見が得られると考えられる。

2. 1. 2. エンターテインメント参加行動の理解

平成 21 年度の研究内容は、以下のとおりである。

(1) 映画祭参加者行動の理解

①概要

本調査では、集客型サービスとして短編映画祭を取り上げ、札幌国際短編映画祭の来訪者を対象として調査を実施した。具体的には、短編映画祭において鑑賞行動スタイルの異なるモニターを 15 名選出し、実際に札幌国際短編映画祭に参加してもらった。そして、これらのモニターが実際にとった鑑賞行動を記録するとともに、その背景にあることがら（認知経路、参加理由、過去の当該短編映画参加経験、モニターの属するコミュニティなど）を詳細に聞き出し、短編映画祭来訪者像を導出した。また、鑑賞行動の記録に際しては、生体データの記録と生体データの分析に必要な補助情報の取得（モニターの見ていたもの、見ているときの状況、気分）も合わせて行った。

本調査は、「SAPPORO ショートフェスト実行委員会、札幌市及び独立行政法人産業技術総合研究所との連携・協力に関する協定」（平成 21 年 9 月 29 日締結）のもとに実施された。連携・協力の実施事項は、1) 映画産業の生産性向上の方法論の検討、2) フィールド調査研究の実施、3) 得られた成果の普及と啓発、4) その他、本協定の目的遂行上必要な事項、である。

②調査の手順

本調査は、以下の手順で実施された：

i) エリートモニター候補者の選定：ウェブアンケートの回答結果を分析し、モニターのライフスタイルや生活価値意識、映画祭参加の同行者、参加の目的、期待すること、観賞スケジュール、映画祭に対する態度の違い等の情報を確認し、エリートモニター候補 30 名を選出した。

ii) エリートモニターの選定：エリートモニター候補者に対して、6 名 1 組、5 セッションのグループインタビューを実施した。指定した実査日時に対応可能であること、かつ、同行者、鑑賞予定プログラム、過去の当該映画祭および類似の映画祭への参加歴などの観点から、映画祭参加属性の異なるモニターを抽出した。さらに、抽出されたモニターについて、鑑賞スケジュール、ならびに同行者を示した具体的なプラン、および、そのプランに至るまでの理由や意図を含めた意思決定プロセスを確認した。これらの内容を吟味して、当該調査に最も適していると考えられるエリートモニター 15 名を確定した。

iii) エリートモニター鑑賞行動記録：15 名のエリートモニターに、各自が計画したプランに沿って自由に映画祭に参加してもらった。その間、以下の 1) ～3) の項目に関するデータをモニターから取得した。

1) 心理状態：幸福感や興奮度、映画祭への期待感など、映画祭参加中に変化する心理状態をアンケートにより得た。アンケートはモニターの参加行動に干渉することがないように工夫し、1 プログラム観賞につき 2 回（観賞前に 1 回、観賞後に 1 回）実施した。

2) 生体の状態：自律神経系の状態や身体活動度を取得した。

3) 態度・行動：モニターにヘッドセットの CCD カメラを装着してもらい、参加および鑑賞中の視点（顔の向き）を撮影し、モニターが参加中に見ている対象を記録した。また、調査スタッフが携行するデジタルビデオカメラでモニターの後方より撮影することにより、参加の様子、他者とのコミュニケーション、携帯電話の利用、買い物、飲食、その他トイレ休憩以外での移動などの状況を記録した。

iv) 回顧インタビュー：iii の実施後、調査で得られた各種データを利用しながら、2 回のインタビューを実施した。1 回目のインタビューでは、CCD カメラムービーと周辺の撮影ムービーを確認しながら、モニターが映画祭参加時にとった態度や行動の理由、心理状態などを中心に特定した。2 回目のインタビューでは、1 回目のインタビュー結果を参照しながら、行動の背景を特定した。モニターのライフスタイルやその他の趣味・嗜好、周囲の参加者の有無、所属するコミュニティ

などについても質問し、映画祭に対する行動スタイルや意識を明らかにした。

v) 映画祭来訪者像の導出：2回のインタビューにより得られたデータを分析し、映画祭来訪者像を導出した。

③調査の具体的内容

i) エリートモニターの選定：北海道在住の10代～70代の男女を対象とし、映画祭の参加経験の有無や、映画への興味、関心の度合いなどを尋ねるウェブアンケート（質問数は30）を行った。実施日は2009年8月12日～19日、回答数は239件であった。質問内容を図2.1.2-1に示す。
















基本属性に関する質問	短編映画に関する質問	短編映画祭に関する質問	札幌国際短編映画祭への参加意向に関する設問
Q.01 性別 Q.02 年齢 Q.03 職業 Q.04 業種 Q.05 居住地 Q.06 イベントへの参加意欲 Q.07 イベントへの参加の主体性	Q.10 短編映画の理解・イメージ Q.11 短編映画の鑑賞経験 Q.12 短編映画への興味・関心 Q.13 短編映画の鑑賞本数 Q.14 短編映画の鑑賞場所 Q.15 短編映画を選ぶ基準 Q.16 情報収集の積極性 Q.17 情報収集の頻度 Q.18 趣味を共有する相手・対象	Q.19 短編映画祭参加経験 Q.20 短編映画祭の記憶 Q.21 短編映画祭で観る作品の選び方 Q.22 短編映画祭の良い点 Q.23 短編映画祭の悪い点	Q.27 参加意向の有無 Q.28 札幌国際短編映画祭に誰と行きたいか Q.29 調査への参加希望日時 Q.30 調査への参加希望日時
映画に関する質問		参加者のライフスタイル・生活価値意識	
Q.08 長編映画への興味・関心の度合い Q.09 長編映画の鑑賞本数		Q.24 興味・関心 Q.25 趣味 Q.26 コア度	

図2.1.2-1 モニター選定のために実施したウェブアンケートの項目

ウェブアンケートの設問、「Q.06：イベントへの参加意欲」「Q.11：短編映画の鑑賞経験」「Q.12：短編映画への興味・関心」「Q.19：短編映画祭参加経験」の回答から、図2.1.2-2に示す5グループにエリートモニター候補を分類した。各グループのウェブアンケートの出現数、エリートモニター選定オーディションのモニター数、最終的に選定されたエリートモニター数も同図に示されている。

グループ	グループの特徴		リクルートアンケート※		オーディション モニタ数	エリート モニタ数
	映画祭参加経験	グループ概要	出現数	出現率		
G1	あり	もともと短編映画に興味・関心があり、近年開催された映画祭に参加したことがある	13	5.4%	9	4
G2	あり	短編映画に興味・関心がなかったが、短編映画祭に行ってみてから好きになった	4	1.7%	1	1
G3	なし	短編映画祭には参加したことがないが、短編映画に興味・関心があるので、機会があれば参加してみたいと思っている	130	54.4%	6	4
G4	なし	短編映画に興味・関心はないが、イベント全般への参加意欲がある	56	23.4%	7	5
G5	なし	短編映画に興味・関心がなく、イベント全般への興味も薄い	29	12.1%	7	1

図 2.1.2-2 ウェブアンケート回答者の分類とエリートモニターを選定結果

G1	G2	G3	G4	G5
 S2 20歳 女  S4 24歳 男  S14 27歳 女  S15 24歳 女	 S8 26歳 女	 S5 27歳 女  S9 29歳 女  S12 30歳 女  S13 26歳 男	 S3 32歳 女  S6 56歳 男  S7 34歳 女  S10 34歳 男  S11 53歳 男	 S1 40歳 男

(a)

一般プログラム							
東宝プラザ 上映スケジュール	10:00~11:30	12:00~13:30	14:00~15:30	16:00~17:30	18:00~19:30	20:00~21:30	22:00~23:30
10月14日(水)	F-A 女性におすすめ For Women	F-B 人間模様 Human Interest	F-C クール1 Music & Fantasy	CHILDREN	F-A FILMMAKERS SECTION - A	F-E 映画好きもビックリ Cinephile	F-D 舞台 Stage of Life
10月15日(木)	F-D 舞台 Stage of Life	F-E 映画好きもビックリ Cinephile	F-C クール1 Music & Fantasy	F-D 舞台 Stage of Life	F-A 女性におすすめ For Women	F-B FILMMAKERS SECTION - B	F-B 人間模様 Human Interest
10月16日(金)	F-D 舞台 Stage of Life	F-C FILMMAKERS SECTION - C	F-D 国内作品-B National & Local-B	F-B FILMMAKERS SECTION - B	メディア芸術祭	F-A 国内作品-A National & Local-A	F-A FILMMAKERS SECTION - A
10月17日(土)	北海道 センクワン	CHILDREN	F-A 国内作品-A National & Local-A	F-C FILMMAKERS SECTION - C	F-D 国内作品-B National & Local-B	F-C クール1 Music & Fantasy	F-D 舞台 Stage of Life
10月18日(日)	CHILDREN	Asia アジアナイトワーン	California カリフォルニア	PREMIUM	Award-A プレミアム	Award-B プレミアム	

(b)

オールナイトプログラム						
東宝プラザ 上映スケジュール	0:00~1:30	2:00~3:30	4:00~5:30	6:00~7:30	8:00~9:30	-
10月18日(日)	F-D 映画好きもビックリ Cinephile	F-D 舞台 Stage of Life	F-C クール1 Music & Fantasy	F-B 人間模様 Human Interest	F-A 女性におすすめ For Women	

(c)

図 2.1.2-3 エリートモニターの短編映画祭参加行動記録スケジュール

ii) 短編映画祭参加行動の記録：オーディションにより選定した 15 名のエリートモニター（図 2.1.2-3(a)）を対象として、第 4 回札幌国際短編映画祭にて、モニターが行動する様子の観察・記録を行った。各エリートモニターは、2009 年 10 月 14 日(水)～18 日(日)の映画祭開催期間のうち 1 日、調査に参加した。会場は、メイン会場である「東宝プラザ（北海道札幌市中央区南 2 条西 5 丁目【狸小路 5 丁目】）」であった。各モニターの参加スケジュールを図 2.1.2-3(c)に示した。

記録方法は、映画祭鑑賞行動を観察記録するエスノグラフィー調査によった。また、モニターに装着した視点カメラによる注視映像の記録、携帯型心拍変動計測装置の装着による、鑑賞中の生体データの計測を行った。

第4回札幌国際短編映画祭、メイン会場の上映スケジュールを図2.1.2-3(b)に示した。本調査では、モニター1人につき、2プログラムの鑑賞行動調査を行った。モニターはプログラム開始2時間前に会場に集合し、調査説明を受けた後は会場周辺で自由行動とした。鑑賞プログラムに関しては、行動プランアンケートで希望があったものを鑑賞できるよう配慮してスケジュールを組んだ。

iii) 回顧インタビューの実施：映画祭終了後、行動調査で得られた各種データを振り返りながら、回顧インタビューを2回実施した。会場は、札幌市産業振興センター（札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1）、実施日は、1回目インタビュー、2009年11月7日(土)、8日(日)、2回目インタビュー、11月14日(土)、15日(日)であった。インタビューの内容を図2.1.2-4に示した。

1回目インタビュー	2回目インタビュー
1. SSF参加前について 1-1. 情報収集について 見るプログラムを選んだ基準 参加前の情報収集について 1-2. チケットについて チケットの種類、購入場所 2. SSF参加中について 2-1. SSF全体のおおまかな感想 鑑賞プログラムの感想、印象に残った作品・シーン 全体の満足度・期待度 2-2. 行動調査の振り返り 心電図ポイントの要因、背景の確認 2-3. 心理評価ポイントの要因、背景の確認 プログラム、作品毎の満足度、期待度について 2-4. 調査時以外の参加について 調査時以外にSSFに参加したか 3. SSF参加後について 3-1. 行動・意識の変化 参加後、映画祭/ショートフィルムに対する行動、意識は変化したか	1. 映画の嗜好性 1-1. 好きな作品の傾向 好きなジャンルについて 好きな作風 映画の見方 1-2. 鑑賞方法の傾向 主体的タイプ（感情移入）か客体的タイプ（評論視点）か 2. 普段の生活について 2-1. アンケート回答 生活スタイル、マインドシェアに関するアンケートに回答 2-2. 趣味や嗜好性 アンケートに挙げられた項目についてヒアリング 自分の趣味についてヒアリング（自分の趣味・嗜好に関するアイテムを持ち寄る） 映画祭以外の集客施設・イベントの参加経験について 映像のコンテンツについて（TV、YouTube等） どのようなものを見ているか

図2.1.2-4 インタビュー項目